



地域協働学校 ふじみ野市立東台小学校 学校運営協議会

第3回ドリーム会議を8月22日に開催しました！

夏休み期間中、第3回ドリーム会議が開催されました。

今回の会議には、日頃は参加できない教職員も参加し、委員の方々との顔合わせが行われ、各クラスの現状と課題（少人数のメリット・デメリット）や東台小の今後の適正な教育環境についての意見交換が行われました。

会議冒頭、教育委員会教育部長より「本日の会議の内容は教育長に報告したい。」とのお話があり、会長からは「コロナ前は運動会、音楽会と足繁く通い、また授業もしていたので、先生方のお名前も子どもたちの顔も大体覚えていた。今日は先生方と東台小の今後、未来について話し合い、忌憚のない意見を伺いたい。」とあいさつがありました。学校長からは集まれた皆様に対する感謝とお互いの顔を突き合わせて行われる貴重な意見交換への期待が述べられました。

会議では、先生達から次から次に意見を出し、それを委員の方々が皆真剣に聞き、質疑して下さる光景があちこちで広がり、予定の1時間があっという間に過ぎました。

参加者全員で真剣に東台小の未来を考えた有意義な会議となりました。

〈会議の次第〉

- 1 教育委員会・学校運営協議会長あいさつ・学校長あいさつ
- 2 協議事項 メンバーの方々との話し合い
- 3 連絡・報告



全員で真剣に取り組んだ会議当日の様子

…会議で話し合われたこと(現状・課題・未来)…

東台小のメリット

- ・目が行き届きやすい、支援しやすい
- ・安心して自分を出せる
- ・細やかなサポートを受けられる
- ・縦の関係も作りやすい
- ・地域とのつながりが密にできる（顔なじみになれる）
- ・他の学年の刺激
- ・家族のよう
- ・教師は子どもをよく見られる
- ・異学年交流が盛ん
- ・1学年1担任のため積み重ねが出来ていく
- ・教室が広く使える、廊下が広い
- ・コロナストレスが少ない
- ・クラスの絆・つながりが深い
- ・児童数が少ないことで授業のスピードが早い
- ・保護者同士もつながりが深い
- ・子どもたちが落ちついている
- ・特別教室が使いやすい、個人で使えるスペースが多い
- ・職員が他学年の児童も覚えられる
- ・子どももいろいろな職員と関われる



東台小のデメリット

- ・人間関係の固定化、トラブルの際、修復が難しい
- ・友達関係で揉まれることがない
- ・登校・下校班（1・2年）の人数が少ない
- ・教員の人数が少ない、引継ぎが難しい
- ・人数が少ない、クラス替えができない
- ・人間関係に変化なく中学校へ進学する
- ・大人がたくさん手をかけられる反面、自主性が育ちにくい
- ・子どもの手が足りずそうじが行き届かない
- ・そうじは大変だが用具の工夫で何とかしている
- ・職員が少ない分、1人あたりの仕事量が多い



東台小の今後について

- ・校区を拡大することはどうか
- ・とても良い造りの校舎なのでなくしたくない、活かしたい
- ・英語やほうきづくり、不登校対策や音楽等々、今後は個別カリキュラムを売りにして子どもをどこかから呼び込めればよい
- ・直接でもオンラインでも地域の力をいただく学習活動を再開したい（生活・総合）
- ・学区編成をして子どもや教員の人数を増やし、デメリットを減らして、メリットを受けやすくしたい
- ・他校との関わりを持つのは、連合運動会がチャンスではないか
- ・高学年が低学年に教える縦の関係が大事ではないか
- ・そうじの人手不足解消のため、PTAから掃除ロボット（ルンバ）を購入するのはどうか

以上

次回会議は…令和4年10月13日(木)です